

# 令和4年度「う・ら・ら」の利用者数

## 1 「う・ら・ら」の利用者数

東浦町運行バス「う・ら・ら」の利用者数の推移は、表1及び図1のとおりである。

### (1) 令和4年度と平成30年度の利用者数の比較

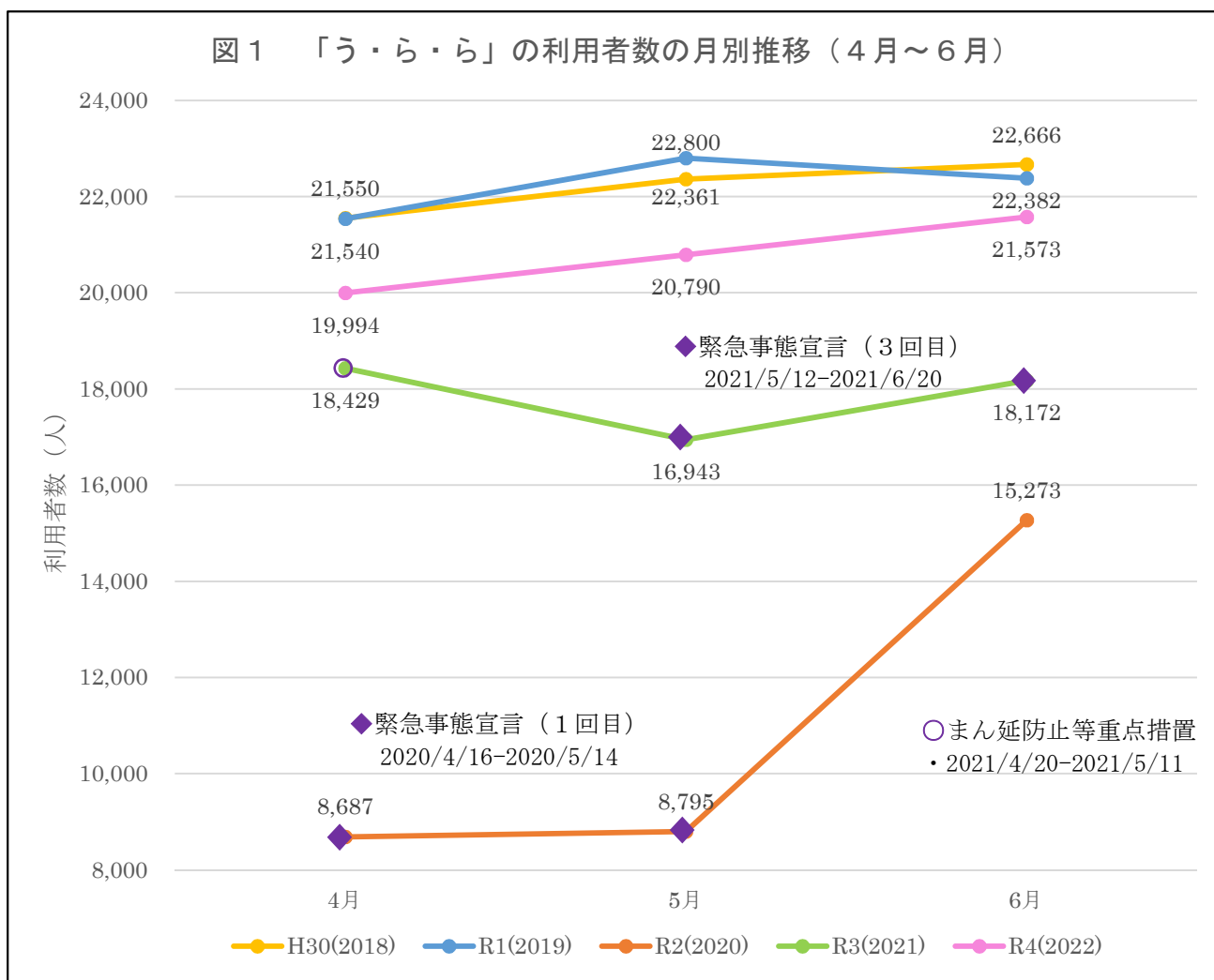
表1及び図1から、令和4年度（4月から6月まで）の「う・ら・ら」の利用者数の計は62,357人、コロナ禍以前の平成30年度（4月から6月まで）の利用者数の計は66,577人である。4月から6月までの期間における利用者数の計を、**令和4年度と平成30年度で比較すると4,220人の減（6%減）**となっていることが分かる。

なお、令和元年10月のダイヤ改正で運行路線が大きく変わっているため、全ての路線において年度比較はできない。平成30年度から令和4年度まで存在する路線について、4月から6月までの期間における利用者数の年度比較を行うと、**刈谷線は1,937人の増（36%増）**、**長寿線は1,036人の増（10%増）**となっている。

以上のことから、この利用者数の減少は、リモートワークや通販の活用等の**新しい生活様式への移行・推進によって外出需要が減少**したことや、旧東ヶ丘線（東ヶ丘団地から緒川駅までの区間を運行）の**午前9時台の移動が環状線（右回り）において実現できていない**ことが原因ではないかと考えられる。

表1 「う・ら・ら」の利用者数の月別推移（4月から6月まで）（人）

路線名	4月	5月	6月	合計	平均乗車数/日	1便当りの乗車数	便数
刈谷線	2,495	2,487	2,350	<b>7,332</b>	80.6	4.5	18
長寿線	3,953	3,965	3,967	<b>11,885</b>	130.6	7.3	18
環状線(左回り)	6,180	6,324	6,764	<b>19,268</b>	211.7	17.6	12
環状線(右回り)	5,205	5,571	5,867	<b>16,643</b>	182.9	20.3	9
東浦高校線 (於大公園南経由)	1,748	2,015	2,021	<b>5,784</b>	63.6	12.7	5
東浦高校線 (文化センター経由)	893	874	1,071	<b>2,838</b>	31.2	6.2	5
長寿医療研究センター直行便	63	61	64	<b>188</b>	3.0	3.0	1
計(A)	20,537	21,297	22,104	63,938	702.6	10.3	68
乗継券利用者数(B) ※1	543	507	531	1,581	17.4	0.3	68
利用者数(A)-(B)	<b>19,994</b>	<b>20,790</b>	<b>21,573</b>	<b>62,357</b>	<b>685.2</b>	<b>10.1</b>	<b>68</b>
平成30年度の利用者数	21,550	22,361	22,666	66,577	731.6	11.6	63
平成30年度との増減数	△ 1,556	△ 1,571	△ 1,093	△ 4,220	△ 46.4	△ 1.5	5
平成30年度との増減比	93%	93%	95%	94%	94%	87%	108%
令和3年度の利用者数	18,429	16,943	18,172	53,544	588.4	8.7	68
令和3年度との増減数	1,565	3,847	3,401	8,813	96.8	1.4	0
令和3年度との増減比	108%	123%	119%	116%	116%	116%	100%



## （2）令和4年度と令和3年度の利用者数の比較

表1及び図1から、令和4年度と同様にコロナ禍以降である令和3年度（4月から6月まで）の利用者数の計は53,544人である。4月から6月までの期間における利用者数の計を、令和4年度と令和3年度で比較すると8,813人の増（16%増）となっていることが分かる。

なお、4月から6月までの期間における利用者数の年度比較を行うと、全ての路線で令和4年度の利用者数が上回っている。特に長寿線は1,968人の増（20%増）、環状線（左回り）は1,989人の増（12%増）、東浦高校線（於大公園南経由）は2,177人の増（60%増）となっている。

この乗車人数の増加は、令和3年度（4月から6月まで）が緊急事態宣言等の発出期間となっていたことや、ワクチン接種率の向上等によって、感染者数が減少したことや、外出に対する意識が変化したことが原因ではないかと考えられる。